

はなまき市議会だより

花の風

第90号

令和8年11月1日

おくじ

- 2 9月定例会概要・議案審議質疑
- 5 一般質問
- 11 決算特別委員会
- 15 常任委員会等の活動報告
- 16 ちよつと一言、議会の動きほか



9月定例会 提出された24議案を可決

令和8年第3回花巻市議会定例会は9月9日開会、10月5日まで27日の日程で開かれました。9月14日、15日、16日には一般質問に15人が登壇し、市政課題について質問しました。

9月18日には議案審議が行われ、令和8年度花巻市一般会計補正予算など提出された13議案を原案のとおりに可決しました。

最終日の10月5日には、花巻球場選手控室等改修工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについてや、財産（児童生徒用タブレット端末・指導者用タブレット端末）の取得に関し議決を求めることについてなど4議案が追加提案され、原案のとおりに可決しました。

また、9月28日から30日には決算特別委員会が開かれ、10月5日の本会議で全議案を認定しました（審査内容は11～14ページに掲載しています）。

主な可決議案や質疑は次のとおりです。

可決

花巻市印鑑条例及び花巻市手数料条例の一部を改正する条例



審議の様子はこちら

出入国管理及び難民認定法等の一部改正に伴い改正するもの。

質 疑

- 質問…具体的な例について伺う。

答弁…在留カードとマイナンバーカードが一緒になった新しい特定在留カードというものができる。そのカードを、印鑑証明書等の交付申請時の本人確認書類として利用できるよう改正するもの。

- 質問…在留カードを所持している人数を伺う。

答弁…住民登録されている外国人住民は795人。そのうち、在留カードの所持者は778人である。

【表紙写真について】

タイトル 大償神社例大祭奉納神楽

メッセージ 大迫町内川目の山の中腹に鎮座する大償神社がある。その例大祭において、ユネスコ無形文化遺産である早池峰大償神楽が奉納された。地域内にある茅葺き屋根の「神楽の館」で行われ、県内外から多数の観客が古民家で舞われる演目に酔いしれた。

可決**令和8年度花巻市一般会計補正予算(第4号)**

10億7297万7千円を追加し、補正後予算を625億4026万円とするもの。

※市議会が注目した主な補正予算は次のとおり。

◆児童育成支援拠点事業 834万2千円

- ・・・家庭や学校に居場所のない児童等の居場所となる児童育成支援拠点の開設準備に対する支援および運営費を計上するもの。

質 疑

- 質問・・・事業の詳細を伺う。

答弁・・・事業開設の準備経費として、専用スペースの整備(仕切り等)や調理・食事提供に係る部分に使える補助金を想定。運営費としては、安全・安心な居場所提供、生活習慣支援、学習支援等、国の示す8つのメニューについてできるだけ多く実施する前提。これから仕様書等検討する。送迎に関しては、送迎が必要な場所への開設となるかどうかも含め検討することとなると思う。この事業は市が運営を委託する。

- 質問・・・開設時期と立地場所を伺う。

答弁・・・冬休み明けを目指して準備をしている。今後、この仕様を行う事業所を選んで、運営する事業者がその場所を決めていく。

**◆有害獣対策事業補助金 2157万3千円**

- ・・・電気柵設置および放任果樹伐採などの有害獣対策に対する補助金の執行見込みにより増額するもの。

質 疑

- 質問・・・有害鳥獣被害対策事業の電気柵の設置および放任果樹等の伐採に対する補助金が大きく追加になっているが現状を伺う。

答弁・・・電気柵については前年よりもほぼ倍、放任果樹等の伐採についても1.5倍ほどの申請を受けている。このことから市民の方々に意識が浸透してきたと思っている。

- 質問・・・有害鳥獣対策アドバイザーの負担について、これまでと比べてどのようになっているのか。

答弁・・・アドバイザーは様々な有害鳥獣に対する対策の先頭に立ってやっていただいております、例えばツキノワグマに関しては捕獲頭数も増え、休日に関係なく出勤回数も増えており負担が大きくなっている。また、アドバイザーと一緒に動いていただく「支援員」も今年度から増員しているが、体制についてはもう少し強化する必要がある。

可決

花巻市定住交流センター（なはんプラザ） 空調設備更新工事

平成4年の建築時から使用し、耐用年数を経過した「なはんプラザ」の空調設備を更新するもの。契約方法は指名競争入札で、6者を指名。令和8年7月28日に開札し、最低入札者の市内事業者と7月31日に仮契約を締結した。工期は令和8年度から令和9年度までで、完成期限は令和9年7月15日である。

◆契約金額 1億7050万円

質 疑

- 質問…空調設備更新工事に伴い、なはんプラザが使用できなくなる期間や、利用制限はあるのか。
答弁…令和9年2月から6月までを休館期間として工事を行う予定。例年1月に行われる20歳のつどいに伴う着付けなどで全館が使用されることを考慮し、その終了後から休館する。
- 質問…休館期間について、市民にはどのように周知するのか。
答弁…7月の市長定例記者会見で既に説明しているが、今後においても請負契約の議決後、市ホームページや広報はなまき等で周知する予定である。

令和8年第2回臨時会

令和8年第2回臨時会は8月7日に開かれました。この臨時会では下記の議案について審議し、原案のとおり可決しました。

審議した議案	内 容	審議結果
矢沢地区義務教育学校校舎・屋内運動場等改築（建築）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	*契約金額：22億7480万円 *完成期限：令和10年2月29日	可 決
矢沢地区義務教育学校校舎・屋内運動場等改築（電気設備）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	*契約金額：6億7210万円 *完成期限：令和10年2月29日	可 決
矢沢地区義務教育学校校舎・屋内運動場等改築（機械設備）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	*契約金額：4億150万円 *完成期限：令和10年2月29日	可 決
矢沢地区義務教育学校屋外環境整備（グラウンド）工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	*契約金額：4億1624万円 *完成期限：令和9年10月6日	可 決
花南産業団地C工区調整池工事の請負契約の締結に関し議決を求めることについて	*契約金額：1億8192万9千円 *完成期限：令和9年3月17日	可 決
令和8年度花巻市一般会計補正予算（第3号）	物価高騰への対応等に係る歳入歳出予算の補正等 * 補正額：1億1348万5千円増額 * 補正後予算額：614億6728万3千円	可 決

一般質問

一般質問

9月定例会では、15人の議員が登壇し、
下記の内容について一般質問を行いました。

令和8年第3回花巻市議会定例会 一般質問一覧（登壇順）		
高橋 修 議員 (明 和 会)	一括質問 一括答弁	①岩手県化製油脂協同組合に係る悪臭問題について ②地域農業経営基盤強化促進計画について ③周産期医療・子育て支援の充実について
小森田郁也 議員 (緑 の 風)	一括質問 一括答弁	①若者・子育て世代の住まいへの支援について ②公民連携による地域課題解決の仕組みの構築について
内館 桂 議員 (はなまき市民クラブ)	一括質問 一括答弁	①高齢者福祉について ②障がい者福祉について ③ホテルフォルクロー口花巻東和の営業終了について
及川 恒雄 議員 (明 和 会)	一括質問 一括答弁	①選挙の投票率について ②災害対策について ③晴山医院閉院について
似内 一弘 議員 (緑 の 風)	一問一答	①市長公約の実現に向けた取組について ②新興製作所跡地について ③花巻まつりにおける山車運行について
本館 憲一 議員 (はなまき市民クラブ)	一括質問 一括答弁	①新興製作所跡地の問題への対応について
藤根 清 議員 (明 和 会)	一括質問 一括答弁	①農業振興について ②県営体育館の誘致について ③物価高騰対策について
三上 昌也 議員 (緑 の 風)	一括質問 一括答弁	①コミュニティ会議について ②生成AIの活用及びリスク管理について
羽山るみ子 議員 (はなまき市民クラブ)	一括質問 一括答弁	①花巻駅周辺地区都市再生整備計画について ②本市の地域資源を生かしたまちづくりについて
葛巻 徹 議員 (緑 の 風)	一括質問 一括答弁	①災害対応・被災者支援について
小笠原悠太 議員 (会派に所属しない)	一括質問 一括答弁	①農業問題について ②県立大迫高等学校について ③花南産業団地について
佐々木精市 議員 (会派に所属しない)	一括質問 一括答弁	①英語学力について ②小中学生のネット利用について ③投票率向上について
高橋 網記 議員 (会派に所属しない)	一括質問 一括答弁	①気候危機打開のための取組について ②農業再生・担い手育成について ③給食費無償化について
菅原ゆかり 議員 (会派に所属しない)	一括質問 一括答弁	①男性への子宮頸がん予防ワクチン接種について ②ヘアドネーションについて
櫻井 肇 議員 (会派に所属しない)	一括質問 一括答弁	①情報公開の在り方について ②国民健康保険税について ③農業経営支援について

◆ 一般質問とは

議員が市政全般のことに
関して、市長などの執行
機関に対し、事務の執行状
況や将来に対する方針など
について質問したり、報告、
説明を求めることです。
年4回の定例会のみで、
臨時会ではできません。

◆ 質問時間は60分

花巻市議会では、答弁を
含み制限時間60分以内で質
問を行います。

◆ 事前通告

質問する議員には、前
もって質問内容を記した発
言通告書の提出を義務付け
ています。
通告とするのは、発言の
順序や発言時間を整理し、
議員に発言の機会を平等に
与えることを保障すると
もに、議事の能率的運用を
促進するためです。



たかはし おさむ 議員

■悪臭問題について

Q

県は令和10年度までに豚と鶏の産出額を増やす計画を発表。化製場への搬入量も増えると思込まれるが対応策を伺う。

A

市民が50年以上にわたり苦しめられている状況を踏まえれば、県が悪臭問題を解決しないまま畜産振興を進めることは許されないと考えることから、今後機会を捉え、引き続き強く要望していく。



■非農地証明書の交付手順の周知について

Q

中山間地域の負担を減らすため、地域の話し合いのもと、非農地証明を発行し管理水田と改良区の賦課金免除を周知させるべきではないか。

A

令和7年度における証明書発行件数は72件であり、認知度として特段問題ないと考えますが、地域での話し合いの中で農地としての維持が難しいところは、所有者と地域の意向を踏まえ、慎重に判断していく必要がある。

■若者・子育て世代の住まいへの支援について

Q

住居費の負担が若者・子育て世代の世帯形成の制約になっていないか。庁内横断でライフステージに応じた住宅支援を行う考えについて伺う。

A

就職間もない若年層や子育て世代の住居費負担は大きくなっていること認識している。ただし若年層に特化した実態データは持ち合わせていない。就職・結婚・子育ての各段階で家賃補助や住宅取得奨励金等の支援を行い、令和7年度の実績は合わせて185件。今後関係部署の連携を充実させ、どの程度の支援が効果的かを検討していく。



こもり たかふみ 議員

■公民連携による地域課題解決の仕組みの構築について

Q

企業や大学の技術を地域課題の解決につなぐため、提案を受け付ける窓口と、市が課題を示し解決策を募る仕組みを設ける考えはないか伺う。

A

全ての課題解決を行う政のみで担い続けることは困難と認識している。現在は具体的な提案は各担当課が、部局横断的なものは秘書政策課が調整しているが、窓口の分かりにくさが機会損失につながることが懸念はある。窓口機能の一元化は実効性があると考え、他自治体の事例を調査研究する。課題を示し解決策を募る手法も有効と考える。



うちだ 圭 議員

■高齢者福祉について

Q

本市では介護人材確保に奨学金返還補助や家賃補助を実施している。その成果および第10期介護保険事業計画での介護人材確保の取り組みを伺う。

A

平成30年度から実施する奨学金返還補助金利用実績は1名。また令和5年度から実施している家賃補助金は令和5年度2名、令和6年度は1名である。市内の介護事業を運営する69法人へのアンケートでは、39・1%が職員不足を訴えている。さらなる対策に向け全国の例も参考にしながら効果的な施策の実施を検討する。

■障がい者福祉について

Q

障がい者のグループホームについて、利用者や家族は慣れ親しんだ地域への整備を望む。併せて就労支援拡充につなげるべきではないか。

A

指定認可は県の所掌であるが、事業者から整備の相談があれば市は情報提供を行う。施設は市内のみならず市外も利用できるのもので、相談支援専門員と相談いただきたい。就労については農業法人の仕事等、施設外就労を行う場合もあり、施設外就労を試みたいということであれば、一般法人と連携し、機会をつくることも可能である。



一般質問



おいかわ つねお 議員

■選挙の投票率について

Q

若者の投票率向上に向けての現在の取り組みと今後の投票率向上対策について伺う。

A

啓発ポスターコンクールの実施や機材の貸し出しを通じて児童・生徒が選挙に触れる機会を提供するとともに、高校へは啓発冊子の配布や制度の仕組みなどを解説し、自ら総合的に判断して候補者を選択できるよう取り組みんでいる。

また、SNSを活用した情報発信、市公式LINE等による周知も行っており、今後も投票率の向上に努めていく。



■晴山医院閉院について

Q

閉院後の医療体制への影響と利用者が次の医療機関に通院するための交通手段について伺う。

A

内科検診、休日当番医、予防接種、東和地域の学校医等を引き受けていただいている。

閉院後については、休日当番医、予防接種は他の医療機関の協力を得て最小限の影響となるよう努めていると伺っている。

自家用車を利用しない方の交通手段については予約乗合バスや公共交通機関、該当する方は通院時交通費助成券が利用可能。

■新興製作所跡地について

Q

新興製作所跡地の安全性、県による行政代執行の可能性、将来的な活用について市の考えを伺う。

A

跡地の擁壁は総合判定で不適合とされた区間があるものの、全ての擁壁で全体の安全性は基準に適合し、直ちに周辺へ影響する状況ではないと考えている。行政代執行の可能性は現時点で答えられない。

将来の活用は現在検討していないが、今後の県の動きや危険度調査の結果等を見極め、今後の方向性を適切に



いちなか かずひろ 議員

判断する。

■花巻まつりにおける山車運行について

Q

花巻まつりの山車運行における担い手不足や、山車製作・待機場所の確保などの課題への対応を伺う。

A

担い手確保については、学校を通じた募集や「広報はなまき」による参加呼びかけを行っているほか、参加希望者を各山車団体につないでいる。山車製作では、資材や山車小屋の設営費、製作・待機場所の確保などが課題となっており、未利用の市有地を一時利用できる可能性も含め、必要な支援について研究していく。



もとだて けんいち 議員

■県の新興製作所跡地における残置がれき類の処理指導について

Q

残置解体物ががれき類は景観上も好ましくない。早急な処分が望まれる。県の解体工事受注者に対する処理指導の状況と改善の見通しを伺う。

A

残置されているコンクリート殻などのがれき類については、令和5年5月に産業廃棄物と認定した。令和6年1月に処理責任者である解体工事受注者に対して文書指導が開始された。県からは複数回の指導が繰り返されており、早急に具体的な内容の計画書を提出した上で、がれき類を速

やかに処理するよう指導していると伺っている。



■跡地取得に向けての考えについて

Q

がれき類の撤去の見通しがつくとして、今から跡地の利活用を模索して、土地の取得に向けて動き出すべきではないか、所見を伺う。

A

がれき類の撤去に向けて県は現在、処理責任者に対し指導をしている。市は県に対してそれを強くお願いしている状況である。市民として跡地をどのように使っていくかという議論をしていただければ良い。跡地が早く綺麗になり、市民にとって有効に活用が図られるよう願っている。そのようになるよう環境を整えていく。



ふじね きよし 議員
藤根 清

■農業振興について

Q

農地集積および集約の実績把握ならびにその具体的な効果・検証について伺う。

A

農業の生産性を高め競争力を強化していくために生産コストの削減は必要である。今後は農地集約を重点的に進め、集積や集約による効果を定量的に把握し、様々な研究機関による調査結果の分析などの公表される情報を収集し、活用していく。

■県営体育館の誘致について



Q

県営体育館やスポーツ医・科学センターの建設誘致について県に対し情報提供や意見交換を行う考えについて伺う。

A

本市には全国大会規模の開催が可能な総合体育館が既に整備されており、また新設の建設費のみならず長期にわたる維持管理費等の継続的な負担などについて財源面の見通しが明確でない限り引き受けは難しい。その中でスポーツ医・科学センターについては本市への誘致に対し検討しており、県に対し情報提供を行うとともに関係機関との意見交換も行っていく。

■コミュニティ会議について

Q

役員数を延べ人数で把握するだけでは兼務や役割の集中が見えない。実人数など、担い手の実態を把握する調査が必要ではないか。

A

詳しいデータを把握するには、コミュニティ会議の方々から伺う必要がある。そのことと自体が地域の負担になることも踏まえ、慎重に考えている。一方、指摘も確かであることから、調査を行う頻度や内容については、今後、検討をしていく。

■生成AIの活用およびリスク管理について

Q

今後拡大する生成AI利用に対応するため、専門人材の育成・配置や外部専門人材の活用など、どのような体制が必要と考えるか。

A

AIは専門性が高く、技術やサービスの進展も極めて速い分野である。今後のAI利活用の拡大を見据え、外部専門人材の確保や市職員の育成など、ガバナンス体制の強化について計画的に取り組んでいる。令和8年度から令和10年度までの3年間で、計90人のDX推進リーダーの育成を目標としている。



みかみ まさや 議員
三上 昌也



はやま こみこ 議員
羽山 るみ子

■花巻駅周辺地区都市再生整備計画について

Q

駅周辺開発に伴う国の補助金が、要望額を大幅に下回る内示額であった。さらに、物価高騰や資材不足も収まる気配はなく、事業費は大幅増の懸念もあるが、今後の対応策を伺う。

A

物価高騰が事業に与える影響については、重大に受け止めているが、事業の必要性自体は変わらないため、利用可能な財源を充当し、事業を完成させる。図書館に関しては、基本設計の結果に基づいて金額に見合うか、床面積や蔵書数の見直しを行う。

■地域資源を生かしたまちづくりについて

Q

花巻地区かわまちづくり計画における本年度の取り組みおよび今後の展開について伺う。

A

令和9年度実施予定のイベント等の社会実験について具体的施策を検討していく。ハード整備として、イギリス海岸付近の公衆トイレの改修、朝日橋付近の河川敷へ予定している駐車場施設設計を実施。今後は、令和12年度までに予定しているハード整備を実施しながら、そのフィールドを使ったソフト施策を順次展開する。



一般質問

市ではこれまでの豪雨の状況などから、災害時に命を守る為の、浸水想定区域や、避難場所等の情報を一枚にまとめた「ハザードマップ」を作成し、今年

A

近年、自然災害が甚大化・頻発化しているが、花巻における近年の豪雨災害発生状況と、発生想定を伺う。もし被災してしまった場合の避難所や、支援物資、災害ボランティア、災害ケースマネジメント等の被災者支援の体制についてもあわせて伺う。

Q

■災害対応・被災者支援について



くずまき とおる 議員
葛巻 徹



4月に全世帯に配布している。毎年実施している防災訓練を今年6月にも地域住民と、自主防災組織などの関係機関と、大雨による河川の増水や土砂災害発生を想定し行ったところである。災害ボランティアや、災害ケースマネジメントをはじめとしたそれぞれの対応についても研修等を行い、顔が見える関係づくりも進めていく予定である。また、避難所運営マニュアルや、物資備蓄指針を整備し、災害時における市の対応の準備も行っている。



おがさわら ゆうた 議員
小笠原悠太



立枯病が要因と思われる欠株が一部の圃場で散見されるものの、全体としての生育は概ね順調である。また、収量については、一般的に欠株周辺の株で穂の数が増える「補償効果」が働くことから、市としては、現時点で大幅な減収にはなりにくいものと考えている。

A

Q

■農業問題について

本年春に発生した立枯病により、田植え時期が遅れた圃場の生育、収量等への影響があるのか伺う。

Q

■県立大迫高等学校について

大迫地区の子どもの教育の機会を保障していくために重要な教育機関である、大迫高校についてどのように考えているのか伺う。

A

小規模ならではの特色ある教育活動による魅力化を図り、地理的にほかの地域へ通学が困難である生徒がいること、県外からの入学応募者がいること、さらに社会的自立を目指して進学を求める通学区域内外の生徒がいることを踏まえ、地域での教育の機会均等を確保し、地域の活性化を推進する観点から、大迫高校の存続が不可欠である。

Q

■英語教育について



ささき せいいち 議員
佐々木精市

本市における中学生の英語学力の現状と英語学力向上に向けた今後の取り組みについて伺う。

A

IRTスコア方式(※)で実施された令和8年度の調査結果によると、本市の中学3年生のスコアは452で全国が502、県が465だった。この数値を全国・県平均を100として換算すれば、全国比90、県比97と、令和5年度と比較して、全国との差はまだあるものの、一定の向上がみられる。今後はALT(※)を

Q

■小中学生のネット使用について

活用するなど、児童生徒の英語学力の向上を目指していく。



A

様々な調査の結果、平日のスマートフォン利用時間が3時間以上と答えた割合が毎年増加傾向にあり、中学生のデジタル機器使用による問題行動が令和6年度10件、令和7年度15件発生している。児童生徒に対する適切な指導の充実のほか保護者の自律性を高めることも重要であり、今後、花巻市PTA連合会と連携し、具体的な方策を講じていく。

※IRT：児童生徒の正答・誤答が、問題の特性(難易度、測定制度)によるのか、児童生徒の学力によるのかを区別して分析し、児童生徒の学力スコアを推定する統計理論。

※ALT(外国語指導助手)：外国語の授業で、担任や英語担当の先生を補助する外国籍の先生。



たかはし こうき 議員
高橋 網記

■気候危機打開の取り組みについて

Q

CO₂削減・気候危機打開の取り組みは緊急の課題だが、花巻市の取り組みはどうなっているか。化石燃料に依存する状況をただし、「気候危機打開自治体宣言」を行い、市民運動をつくり出す考えはないか伺う。

A

市は第三次花巻市環境基本計画の別冊として「花巻市地球温暖化対策実行計画」を市環境審議会の意見を踏まえ令和6年3月に策定している。令和6年度エネルギー需要実績による我が国の化石エネルギー依存度は80・1%となっており、依然として高い。「気候危機打開自治体宣言」

については研究していきたい。



■中学校の給食費無償化について

Q

小学校の給食費無償化が実現したことは、中学校の無償化をばむ理由がないことと考える。直ちに、国に対し無償化を働きかけるべきだが、どのように考えているか。

A

国は、令和8年4月から小学校の給食費の抜本的な負担軽減を実施することとし、児童1人あたり月額5200円を基準額として支援することとなった。市は学校給食の無償化は義務教育にかかる負担軽減の観点で行われるべきと捉え、中学校においても早期に実施するよう、これまで同様、要望していくこととしている。

■男性への子宮頸がん予防ワクチン接種について

Q

昨年8月には女性と同じ9価ワクチンも適用拡大され、尖圭コンジロームや陰茎がん、中咽頭がん、肛門がんの3種類のがんも対応可能となった。性別に関わらず全ての人が健康を守る観点から接種費用の助成を行う考えはないか伺う。

A

ワクチン接種費用が他の予防接種と比較し高額であり、市単独で助成することは財政的に大きな負担が生じることが見込まれることから、国における定期接種化への議論を注視していく。

■ヘアドネーションについて

Q

がん対策としてヘアドネーションに対して市民の善意を後押しし、包括的な福祉政策の観点から、カット代に対する助成について伺う。

A

ヘアドネーションは寄付者が自らの意思で髪の毛を提供する社会貢献活動であり、現時点ではヘアドネーションのために髪を切った方に対するカット代の助成は行っていない。国や県、他の自治体の対応方針や、民間団体のヘアドネーションに係る活動状況について今後とも注視していく。



すがわら ゆかり 議員



さくurai はじめ 議員
櫻井 肇

■情報公開について

Q

「花巻市情報公開条例」に基づく市民からの情報公開請求において、公開範囲について、どのような検討・配慮が行われているか伺う。

A

請求にあたっての開示請求文書に第三者に関する情報が含まれる場合は、当該第三者へ通知し、必要に応じ意見を求める。その上で、全部開示が適正か、文書の一部に非開示情報記録されている場合、部分開示を行っている。以上の判断により、透明性の確保と関係者の権利・利益の保

護を両立させながら情報公開に努めている。



■国保引き下げについて

Q

国民健康保険加入者の18歳以下の加入者負担、いわゆる子ども均等割り引き下げについて伺う。

A

子どもの均等割保険税の軽減の対象年齢が18歳まで拡大される。条例を改正することとなるが、子どもに係る均等割保険税の軽減は、子育て支援策として有効であると認識しているところであり、全国市長会においても、国の制度における軽減割合の拡大について引き続き、国に対して提言していくものと考えている。

決算特別委員会 令和7年度各会計決算を認定

令和7年度花巻市一般会計歳入歳出決算など7件の会計決算について決算特別委員会を設置し、9月28日から30日までの3日間、審査を行いました。

審査の結果、「令和7年度花巻市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について」および「令和7年度花巻市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について」の2件については反対があり、採決の結果、賛成多数で、他の5件は全会一致で認定すべきものと決しました。

審査結果については、10月5日の本会議で委員長報告が行われ、反対の討論が行われましたが、委員会の決定どおり、それぞれ認定しました。

審査の主な質疑・答弁の内容は次のとおりです。

審議の様子はこちら



9月30日



9月29日



9月28日



3億1223万円

公共交通確保対策事業

- Q** 石鳥谷、大迫、東和で予約乗合交通を週3日から週5日に拡充したが、利用者数はどのように変化したか。
- A** 石鳥谷は2282人で前年度比約20%減、大迫は3378人で6%減、東和は3808人で7%増となった。運行日数を増やしたものの、地域ごとに利用状況には差が見られた。

36億6877万円

イーハトーブ花巻 応援寄附金推進事業

- Q** ふるさと納税に関連し、ポータルサイトへ支払った費用はいくらか。また、寄附受入額に対してどの程度の割合となっているか。
- A** 支払額は8億1973万円。内訳は広報費約4887万円、決済等約1505万円、事務費約7億5581万円で、寄附受入額に対する割合は11.7%となっている。

2670万円

子育て世帯住宅取得奨励金

- Q** 令和7年度の交付実績は目標130件に対し70件で、令和6年度の80件からも減少している。減少した要因をどう分析しているか。
- A** 令和5年度100件、6年度80件、7年度70件と減少傾向にある。詳細な分析は行っていないが、近年の住宅価格高騰などが住宅取得のハードルを高めていることも一因と捉えている。

836万円

介護事業所経営支援事業

Q 介護報酬の基本報酬引き下げを受けた訪問介護事業所への市独自支援は、市内のどの程度の事業所が利用したのか。

A 対象となる 21 事業所は市内全ての訪問介護事業所であり、全 21 事業所から申請があった。市では、この申請状況から事業が有効に活用されたものと認識している。

3574万円

湯のまちホット交流事業

Q 65 歳以上を対象とする「湯のまちホット交流」は、令和7年度にどの程度利用されたのか。また地域ごとの利用状況に大きな差はないか。

A 対象者 3 万 1505 人のうち申請者 9994 人、利用者 8579 人、延べ利用回数は 6 万 237 回。花巻、大迫、石鳥谷、東和の各地域とも、おおむね人口に応じた利用状況と分析している。

1368万円

公害防止対策事業

Q 悪臭に関する苦情件数を成果指標としているが、令和7年度の実績 65 件をどのように評価しているか。

A 悪臭防止法では、規制基準を超えた場合だけでなく、住民の生活環境に支障が生じている場合に指導対象となる。そのため、苦情件数を把握すること自体には一定の意味があると捉えている。

852万円

食生活改善推進事業

Q 食育講座（参加 487 人）ではどのような取り組みを行い、成果指標である 1 日の推定塩分摂取量にどのような変化があったか。

A 女性の健康、郷土料理、生活リズム、低栄養予防などの講座を行い、味噌汁の塩分測定なども実施した。推定塩分摂取量は令和6年度 9.78g から7年度 9.71g へわずかに減少した。

3616万円

担い手育成支援事業

Q 令和7年度の新規就農者は 39 人となり、令和6年度の 23 人から大きく増加した。就農形態や作目の内訳は。

A 39 人のうち農業法人などへの雇用就農が 28 人、自営就農が 11 人。自営就農の内訳は水稻 3 人、野菜 4 人、果樹 4 人となっている。

847 万円

職業人材育成・確保対策事業

Q 高校生や一般求職者を対象とした企業見学や合同説明会には 211 人が参加した。その後、市内企業への就職にはどの程度つながったか。

A 一般求職者向け合同説明会には 72 人が参加し、令和8年3月末時点で 35 人の就職が決定。このうち 12 人が説明会に出展した企業へ就職した。

決算特別委員会

1610万円

スマートアグリ推進事業

- Q** スマート農業機器導入への支援について、令和7年度はどのような機器が導入され、利用実績はどの程度だったか。
- A** 機器導入 29 件、ドローン技能認証取得5件を支援した。主な内訳は自動操舵システム6件、農業用ドローン9件、ラジコン草刈り機3件などである。

4億6911万円

中山間地域農業支援事業

- Q** 中山間地域での活動面積が 2679ha から 2363ha へ 316ha 減少している。減少した主な要因は何か。
- A** 国の制度が第5期から第6期対策へ移行する中で、13 組織が活動を休止したことが主な要因。背景には、構成員の高齢化や地域での担い手不足などがある。

640万円

民間宅地開発支援事業

- Q** 令和7年度は民間宅地開発4件に 640 万円を補助した。民間事業者への補助によって、どのような効果があったと捉えているか。
- A** 6m 幅の道路整備を条件に補助し、安全で良好な宅地開発を誘導している。補助開始前は6m 未満の位置指定道路が約 38%だったが、直近3年間では 21%まで低下しており、狭い道路に接地する宅地の減少につながっている。

1324万円

外国人観光客誘致促進事業

- Q** タイの旅行会社3社を招いて実施した視察ツアーでは、花巻の観光資源についてどのような評価や課題が示されたか。
- A** 自然の美しさ、温泉施設の多さ、団体旅行を受け入れられる環境などは高く評価された。一方、タイからの直行便がなく、他都市を経由するため交通費や移動時間がかかることが課題として指摘された。

6121万円

勤労者福祉向上事業

- Q** 勤労者向け貸付制度では、令和7年度から教育資金に加え、福祉資金、移住定住支援資金、空き家対策支援資金を新たに対象としたが、利用実績はどうだったか。
- A** 令和7年度に新設した福祉資金、移住定住支援資金、空き家対策支援資金については、いずれも利用実績はなかった。

5230万円

観光施設指定管理業務

- Q** 田瀬湖キャンプ場・釣り公園の指定管理料は 1385 万4千円となった。新たな指定管理者による令和7年度の運営をどう評価しているか。
- A** 指定管理者変更後の初年度で、前管理者からの引き継ぎや管理ノウハウの習得を進めた。草刈りや芝生管理など、施設の維持管理は適切に行われたと評価している。

2546万円

専門家相談会開設事業

Q 債務整理や生活再建のための貸付は、令和7年度末で52件、6128万8千円となっている。貸付枠6800万円に対し、利用状況はどうなっているか。

A 貸付残高6128万8千円のうち、新規貸付は12件、2400万円。年度末時点では貸付枠6800万円に近い利用状況だった。償還された分は再び貸付枠として利用できる仕組みとなっている。

19億4605万円

国民健康保険事業費納付金

Q 県に納める国民健康保険事業費納付金は、前年度から4327万5千円増え、19億4605万5千円となった。増加した主な要因は何か。

A 花巻市は県内でも1人当たりの医療費が低く、これまではその分、県への納付金が低く抑えられていた。県が市町村ごとの医療費の差を納付金に反映させない方向へ制度を統一しているため、医療費が比較的低い花巻市では納付金が増加した。

討論

【反対】櫻井 肇 委員 議案第82号、83号

(議案82) 市民の税負担が増えるため反対する。国保加入者は65歳以上が全体の53%を占め、高齢者、低所得者が多いというのが本保険制度の特徴である。令和7年度からの国保税負担は、前年対比4900円の増であり、現在の試算では令和11年度まで続くとされており、5年間で2万4500円の負担増である。異常な物価高の中での増税は、加入者の暮らしを圧迫する。

(議案83) 医療保険制度を75歳という年齢で区分けする制度自体を是認できないため反対する。同時に、新たに子ども・子育て支援金の負担は、年金受給者に更なる負担を強いることとなり、子育てを終えている被保険者にこの負担金を課することは理不尽という他ない。

賛否が分かれた議案の審議結果

議案 82	令和7年度花巻市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について
議案 83	令和7年度花巻市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

会派名	明和会								緑の風							はなまき 市民クラブ			会派に 所属しない						審議結果	
議員名	新山敏彦	畠山勝幸	阿部美智子	及川恒雄	伊藤忠宏	藤根清	高橋修	小原保信	横田忍	葛巻徹	三上昌也	北條秀麿	小森田郁也	似内一弘	小原雅道	鹿討康弘	羽山るみ子	内館桂	本館憲一	小笠原悠太	佐々木精市	高橋綱記	菅原ゆかり	櫻井肇		照井省三
議案 82	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●		○
議案 83	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●		○

○は賛成、●は反対。議長は表決に加わりません。

常任委員会等の活動報告

総務常任委員会

- ◆ 9月24日（木）
 - * 協議「委員席の指定について」
 - 「今後の活動方針について」
- ◆ 10月27日（火）
 - * 協議「化製場の悪臭問題について」

【所管事項】

総合政策部・地域振興部・財務部・市民生活部・
総合支所・会計課・消防本部・消防署・監査委員
及び選挙管理委員会の所管に関する事項並び
に他の常任委員会の所管に属さない事項

文教福祉常任委員会

- ◆ 9月24日（木）
 - * 協議「委員席の指定について」
 - 「今後の活動方針について」
- ◆ 10月22日（木）
 - * 協議「障がいのある人もない人も
共に生きるまちづくり条例
について」

【所管事項】

福祉部・健康こども部・生涯学習部及び教育
委員会の所管に関する事項

産業建設常任委員会

- ◆ 9月25日（金）
 - * 協議「委員席の指定について」
 - 「今後の活動方針について」
- ◆ 10月27日（木）
 - * 協議「今後の活動計画について」

【所管事項】

農林部・商工観光部・建設部及び農業委員会の所
管に関する事項

議会改革推進会議

- ◆ 10月1日（木）
 - * 協議「花巻市議会基本条例に係る
研修会について」
- ◆ 10月29日（木）
 - * 協議「今後の検討事項について」

市民の意思を市政に的確に反映させるた
め、議会改革に継続的に取り組むための協
議の場です。

くずまき かほ
葛巻 迦帆さん
(花巻農業高校2年)花巻市の未来へ
ちょっと一言いとう としこ
伊藤 利子さん
(大迫町亀ヶ森)

花巻の農業を未来につなぐ

自然豊かなまち花巻には多くの農産物や食の魅力がありますが、農業の担い手不足が課題となっています。この課題を解決するためには、若い人たちにもっと農業に関心を持ってもらうことが大切だと思います。花巻農業高校では、地域の食材を活用した商品開発など、農業や食に関わる学習をして

います。私たち高校生がこうした学習をとおして農業の魅力を知り、自分たちから花巻の食材や農業の良さを発信すること、興味を持つ人を増やすことができると思います。一人でも多くの若者が「花巻で農業をしたい」と思う地域にすることが、花巻の農業の未来につながるのだと思います。

ふる里の田園風景いつまでも

「おたくの田んぼの近くに熊が出たっけよ。」今年の6月、知人が教えてくれました。その日は夫が田んぼで苗の補植をしていましたが、ケガはありませんでした。田んぼには鹿も来ます。

でも、米作りの収入は、肥料代・農薬代を差引くと、あまり期待はできないようです。まだ働けるのに米作りをやめてしまいう農家を増やさない為にも、国には何とか支援策を考えていただきたいです。豊かな田園風景が広がるふる里を存続できますように、と願います。

議会の動き 8月～10月

- 8月3日 議員全員協議会
7日 令和8年第2回臨時会
9月4日 議会運営委員会
9日～10月5日 令和8年第3回定例会
9日 議会運営委員会
広報特別委員会
18日 議会運営委員会
24日 総務常任委員会
文教福祉常任委員会
25日 産業建設常任委員会
10月1日 広聴特別委員会
議会改革推進会議
5日 議会運営委員会
7日 広報特別委員会
15日 広報特別委員会
20日 議会運営委員会
21日 広報特別委員会
22日 文教福祉常任委員会
27日 総務常任委員会
産業建設常任委員会
29日 議会改革推進会議

議会傍聴にぜひお越しを！！

【9月定例会】

本会議の傍聴に訪れた方の延べ人数 38人

【12月定例会】

12月4日（金）開会

詳しい日程は、議会事務局までお問い合わせいただきます。くか市議会のホームページをご覧ください。

議会事務局 0198-41-3598（直通）

議会中継をスマホ・

PCで視聴できます！！

議会を傍聴に来られない方は、お持ちのスマートフォン・タブレットやパソコンからリアルタイム視聴ができるほか、録画配信もしています。

また、えふえむ花巻 FM One 78.7MHz では後日、録音した一般質問の音声を放送しています。

議会 YouTube も

ご覧ください！！

市議会に係る情報や活動、定例会のお知らせなど、市議会の活動内容を伝える動画を配信していきます。

ぜひご視聴ください！！

【広報特別委員会】

委員長

伊藤 忠宏

副委員長

羽山るみ子

委員

小笠原悠太

三上 昌也

畠山 勝幸

阿部美智子

高橋 綱記

北條 秀麿

鹿討 康弘